19日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭64-48506

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和64年(1989)2月23日

H 03 F 3/45

Z - 6658 - 5J

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全5頁)

⑤発明の名称

差動出力を有する差動増幅器

②特 願 昭63-141918

②出 願 昭63(1988)6月10日

侵先権主張

劉1987年6月19日③フランス(FR)到87/08656

⑫発 明 者

メニエ テイエリ

西ドイツ国 7730 オーベレシャッパ オスカージョーズ シユトラーセ 10

⑪出 願 人 エスジーエスートムソ

フランス国 94250 シェントリイ アヴニユ ガリェチ

ン ミクロエレクトロ

ニクス ソシエテ ア

ノニム

邳代 理 人

弁理士 髙橋 明夫 外1名

明相、自

1. 発明の名称

差動出力を有する差動増幅器

- 2. 特許請求の範囲

 - 2. RC型の1つの低域フィルタが前記比較器出

力と基準入力との間に置かれていることを特徴 とする請求項1記載の増幅器。

- 3. 前記第1及び第2のフィルタはRC型の低域 アレイにより構成されていることを特徴とする 請求項1記載の増幅器。
- 4・前記増幅器を構成している素子はすべて、前記比較器出力と基準入力との間に置かれた前記 フイルタのコンデンサを除いて集積され、前記 コンデンサは基準入力と供給端子との間に接続 されていることを特徴とする請求項1記載の増 幅器。

力を含む前記スイッチの入力に接続されていることを特徴とする回路。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は差動出力を持つ集積可能な差動増幅 器にかかわる。又、ビデオテープレコーダの読出 しヘッドを切換えるための回路に対する応用に関 するものである。

[従来の技術]

頓器出力において生じる。このオフセットはその 回路によって与えられる利得によりその出力で増 幅される。

他方、トランジスタをバイアスするためには、 当然に若干の雑音が付加されるが、高い値を抵抗を では、高い値を持つ抵抗を 用いたときの増加を避けるためには、が使用する必要音の増加を避けるためには、がしまいがである。 他の抵抗器ならびに高い値のコンデンサの集積で、 ならびに高いができる。そこで要ができる。 生ずる問題に直面することになる。そこで要ができます。 ながですれかを選択することが必続されるには、 かりまないでする。 ながですることが必要できます。 がはないには、 かりジングの2つの接続れるにより はないのかができます。 がはない。 を使いまれる回路のハウジングに接れない。 ない値のコンデンサ(ただし、 集積ない)を使 用する。

解決すべき問題は、その出力間に何等の直流レベル変動が起きず、集積化され、どのような雑音も付加することなく、しかも2つのハウジング接続ピンの使用が避けられる差動増幅器を実現することにある。

とにあり、このコンデンサはその場合上流回路と増幅器との間に置かれる。コンデンサの目的はかかるオフセットを打消すことにある。 しかかがら、オフセットのすべての原因が打ち消されるけではない。 特に、 直流レベルは出力の各 助し且われ、 そのレベルは確定できない態様で変動し且つ出力において増幅される。

実際問題として、 従来の差勤増幅器は入力信号の直流成分によりパイアスされる2つのそののののののでは、 で使用されると、 その信号の直流のスタを含んでいる。 その信号ののでは、 ないがった。 ことがが使用される。 ことがが使用される。 ないはない である。 と同時に、 抵抗 器 かん ない は 準 源 と 増 幅 用トランジスタの各々のペースとの間に接続されていた。

[発明が解決しようとする課題]

上記抵抗器の値は、厳密に同一値の抵抗器を得るのが不可能であるために、常にばらつきが生じる。 そうしたばらつきに起因したオフセットは増

従って、本発明の目的は、信号入力の直流レベル変動を補償し、そして雑音を加えることがなく、 或る一定レベルにおいて出力直流レベルにおける 差をサーポ制御することが可能な回路を含む差動 増幅器を提供することにある。

[課題を解決するための手段]

上記差勤増幅器の信号入力として直流レベルの信号が直接与えられ、従来のように直列コレベッテンサで、 放抵抗器の パラツキによるオフセットの問題が解消される。またコンデンサを使用しないため 集 積化も容易であり、また、 2 つのハウジング接 統ピンの使用も避けることが出来る。

[実施例]

第1図には、この発明による差動地幅器ののプロック図が示されている。増幅器1は、1つ変と、1はには定まってはない。直上で明確には定まって目号T1は上で明確には上での信号T1を受信する。この信号T1を受信する。この信号T1を受信する。この信号T1を理解するのにがある。増幅器は2つのにが変いる。増幅器は2つにが変いる。増幅器は2つにが変いる。増幅器は2つに接続である。2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000にでは、2000に

いて、そして出力S2の直流成分をフイルタ3の 出力において得るために、フイルタ2及び3によって漏波される。

かくして、増幅器は入力信号T1の直流成分の変動を保証し、出力における直流信号の差を零に近づく値へとサーボ制御する調整ループを含んでいる。その調整ループは、装置が差動出力S1及びS2間に存在する直流オフセットを打消す傾向を持つように設計されている。

そこで、出力におけるオフセットを減少させる 原理は、そのオフセットを測定して、それを零に 近づく値へとサーボ制御することにある。

本発明は、差動出力上における直流オフセットを打消し、非常に低い雑音レベル及び完全な集積 適合性を得、皿に、増幅器を含む集積された回路 ハウジングで使用されるピンの数を減らして上述 した問題を解決している。

第2図はこの発明による増幅器の一層詳細な図を示している。トランジスタア1及びア2は、抵抗器R1,R2を通して、電流源J1の一端にそ

の他方の入力 C 2 に接続されている。比較器4の出力 C 4 は、基準電圧を受信するように設設計されている増幅器1の差動入力 A 2 にじかに接続されるか、または低域フィルタ 5 により間接的に接続される。フィルタ 5 はその入力 E 5 において 上税器4の出力信号を受信し、その出力 F 5 は入 A 2 に接続され、比較器4の維音を抑制して 2 つの集積可能なフィルタ 2 及び3 の性能を改善するように設計されている。

れぞれ接続されているエミツタを持ち、電流源 J 1 の他端は供給端子 V b に接続されているようなは、抵抗ないのはないのは、抵抗をする。 R 3 を a に接続できる。 B 2 は、例えば、トランジスでのは、例えば、トランは、の間での接合点である。

フイルタ 2 は抵抗器 R 2 0 及びコンデンサ K 2 0 により構成され、フイルタ 3 は抵抗器 R 3 0 及びコンデンサ K 3 0 により構成されている。出力 S 2 からの信号はフイルタ 3 の入力 E 2 に印かされる。フイルタ 2 の出力 F 1 からの信号は比較器 4 のトランジスタ T 5 のベースに印かされている。

この比較器は、従来のように、トランジスタT 3, T 4 及びT 5, T 6 からなるダーリントン回 路にて構成されている。トランジスタT 4, T 6 のエミッタは電流源J4の1端に接続され、その 電流源の他端は電圧供給源の電圧Vbに接続され ている。

ダーリントン回路の出力の1つはトランジスタ T5及びT6のコレクタに対応し、そうしたトラ ンジスタのコレクタ信号はトランジスタT8のペ ースに印加され、そのエミッタはフイルタ 2 のコ ンデンサ K 2 O の端子に接続され、そのコレクタ は電圧供給源の電圧 V a に接続されている。トラ ンジスタ T 8 はそのペースと電圧 V a との間に接 続されている抵抗器 R 6 によってパイアスさ

ダーリントン回路の他の出力はコレクタT3, T4に対応していて、トランジスタT7のベース に印加される信号を与え、トランジスタT7なで のベースと電圧供給源の電圧Vaとの間に接充 れている抵抗器R5によりパイアスされ、そのエ ミッタは比較器出力に対応している。この出力の 4 からの信号は増幅器の入力A2に印加されるか、 或は好ましくは図示のように、フイルタ5の入力 E5に印加され、このフイルタの出力F5がその

にあり、従って、オフセット電圧は5mVとなる。

第3図にはこの発明による増幅器の好ましい実

施例が示されている。この実施例は第1回又は第 2図に関連して開示されたような2つの増幅器を 使用しており、そうした増幅器はビデオテープレ コーダの読出しヘッドからの信号を増幅するため に使用されている。2つの読出しヘツド(この図 には示されていない)は切換えられなければなら ない信号T1又はT2を与える。2つのヘッドは 直径方向に対向していてそしてビデオテープレコ ーダのテープ上に記録されている情報を吹々と読 む。貌出しヘッドはその回転速度に従って一つの ヘッドから他のヘッドへ切換えられることになる。 2 つの増幅器10及び20の各々の出力はスイ ッチ30の入力に接続されていて、スイッチ30 は、その出力M1, , M2に、増幅器10の出力 S1、S2からの信号か、又は増幅器20の出力 S1,S2からの信号のいずれかを与えることに なる。このスイッチ30により実行される切換え

増幅器の入力A2に接続されている。

フイルタ5は抵抗器R50とコンデンサK50とからなり、その抵抗器R50は端子E5とF5との間に接続され、コンデンサK50は、基準入力A2にじかに接続されている出力F5と供給電圧の電圧Vbとの間に接続されている。

更に、増幅器10の出力S1及びS2間におけるオフセットと、増幅器20の出力S1及びS2間におけるオフセットとは、例えば、+10mV及び+8mVというように同じ極性を持っている。しかしながら、スイッチ入力に存在するオフセット差は、2mVというように、極めて小さいのである。

特開昭64-48506(5)

[発明の効果]

以上詳述したように、本発明によれば差勤増幅 器の入力側抵抗器のバラツキによるオフセット電 流が生ずることがないため、安定した出力側の直 流レベルを得ることが出来る。

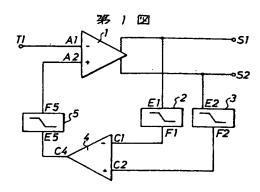
また入力側のコンデンサを使用しないためコンパクトな集積化が可能であり、さらに2つのハウジング接続ピンを使用する必要もない。

4. 図面の簡単な説明

第1回はこの発明による増幅器の全体的な構成を示すブロック図、第2図は第1図の増幅器の詳細な内容を示す回路図、第3図はこの発明による増幅器の好ましい実施例のブロック図を示す。

1 … 差動増幅器、 2 , 3 … 低域フイルタ、 4 … 比較器、 5 … R C 型低域フイルタ、 T 1 … 入力信号

> 代理人 弁理士 髙橋明夫 (ほか1名)



第3回

